

令和7年度第1回ワークショップの開催

日本列島を東－西に区分する大断層（糸魚川－静岡構造線）が早川町を縦断していることがわかる露頭が町内には何カ所か存在しています。その中で平成13年に国の天然記念物に指定されている新倉の断層、湯島の断層、昨年再確認した



西山の断層の3カ所を現地で見学し、各々の断層を境にして、両方の地層・岩石が肉眼的に大きく異なることや、互いの脆さ（もろさ）の違いなどを説明していただきます。

また、3月18日に落石が発生し通行止めになった、南アルプス公園線の付近には、糸魚川－静岡構造線が走っていることから、地質と斜面崩壊の関係についても現場で観察できそうです。

※ 左の写真は西山温泉付近の河川敷に見られる、色の違う大きい岩の接触部ですが、この色の違う境界線が断層です。

- 日 時 令和7年7月12日（土） 11時30分頃に役場駐車場に帰る
- 募集人員 25人（先着）
- 集合場所 早川町役場駐車場
- 集合時間 9時 （役場駐車場から断層まではバスで移動します）
- 移動場所 新倉断層、湯島の断層、西山の断層
- 参加料 無料
- 申込方法 7月4日（金）までに電話かメールで下記に

氏名、住所、電話番号を連絡し申し込んでください。

※申込、お問い合わせ先

日本上流文化圏研究所 TEL 0556-45-2160

メール info@joryuken.net

糸魚川－静岡構造線資源活用プロジェクト in 早川